

Brave Song

「Angel Beats!」のED

いつもひとりで歩いてた^{ある} 振り返るとみんなは遠く^{とお}
それでもあたしは歩いた^{ある} それが強さ^{つよ}だった
もう何も^{なに}恐^{こわ}くない そう^{つぶや}呟いてみせる
いつか人は一人^{ひと}になって 思い出^{おも}の中に生きて^でくれ^{なか}だけ
孤独^{こどく}さえ愛^{あい}し笑^{わら}ってられるように あたしは戦^{たたか}うんだ
涙^{なみだ}なんて見^みせないんだ

いつもひとりで歩いてた^{ある} 行く先^いには崖^{さき}が待^{がけ}ってた^ま
それでもあたしは歩いた^{ある} 強さ^{つよ}の証^{しょうめい}明^{めい}のため
吹き^ふ付け^つる強^{つよ}い風^{かぜ} 汗^{あせ}でシャツ^はが張^はりつく
いつか忘^{わす}れてしまえるなら 生きること^いそれはたやすいもの
忘^{ぼうきやく}却^{かなた}の彼方^おへと落^おちていくなら それは逃^にげることだろう
生^いきた意^い味^みすら消^きえるだろう

かぜ 風^{かぜ}はやがて 屈^ないでた 汗^{あせ}も乾^{かわ}いて
お^{なか}腹^あが空^ないてきたな 何^{なに}かあ^なったっけ
賑^{にぎ}やかな声^{こえ}と共^{とも}にいい匂^{にお}いがや^いってきた

いつもひとりで歩いてた^{ある} みんな^まが待^まっていた

いつか人は一人^{ひと}になって 思い出^{おも}の中に生きて^でくれ^{なか}だけ
それでもいい 安^{やす}らかなこの気^き持^もちは それを仲^{なか}間^まと呼^よぶんだ
いつかみんなと過^すごした日^ひ々^びも忘^{わす}れてどこか^いで生^いきてるよ
その時^{とき}はもう強^{つよ}くな^なんか^いないよ
普^ふ通^{つう}の女^{おんな}の子^この弱^{よわ}さ^{なみだ}で涙^{こぼ}を零^{こぼ}すよ